

## 被災4県で

## 東北お遍路

「一本松」など53カ所

東日本大震災の被災地を四国遍路のように巡る取り組みを進める一般社団法人「東北お遍路プロジェクト」(仙台市)は4日、青森、岩手、宮城、福島4県で巡礼地を選び、岩手県陸前高田市で津波に唯一耐えた「奇跡の一本松」や、福島の東京電力福島第1原発など計53カ所を発表し

た。

同法人は巡礼者を呼び込んで慰霊、伝承を続けてもらうことを目的に2012年2月ごろ、住民らから募集を始め、約100カ所を候補として選定。「千年残したい物語性がある」ことなどを条件に、有識者らが絞り込んだ。

福島第1原発は現在、近づけないが、時間の経過とともに道が開き、宿などが開業することを期待したという。新妻香織共同代表(54)は「祈りの道がつなが

り、記憶が千年先まで続くことを願っている」と話した。

決定した巡礼地はほかに、屋上に逃げた児童らが津波から助かった宮城県山元町の町立中浜小や、被害に遭いながら観光地として再開した青森県八戸市の蕪嶋神社など。

今後追加する予定で、今回は多くの職員が亡くなり、震災遺構として残すかどうか議論が続いている宮城県南三陸町の防災対策庁舎の選定は見送った。